

視察報告書

会派名 立憲フォーラムたじみ

代表者名 石田浩司

1 日 ち	令和元年 10月 28 日 (月)
2 視 察 先 研修名、主催者及び会場	愛知県常滑市 焼き物散歩道地区計画と観光振興について
3 参 加 者	経済建設常任委員会メンバー
4 調 査 内 容 研 修 内 容	常滑焼を使った観光振興 やきもの散歩道の視察
5 所感、主な内容、提 言事項、課題等	<p>常滑市は常滑焼で栄えた伝統のあるまちを「やきもの散歩道」として整備をして観光客を誘致している。登り窯や作業場を活用したお店のしつらえは観光客が楽しめるように工夫がされている。土管を使った昔ながらの擁壁は観光客の目を引くものになっている。</p> <p>「散歩道地区景観計画」を平成18年に策定し「生産や生活の場を守り育てる景観まちづくり」を基本として、建築物には届け出の必要な行為など基準をもうけ、景観形成基準も「守るべき基準」と「配慮してほしい基準」の二段階に定められている。</p> <p>セントレア空港の開港以来インバウンド客も増加しており「常滑焼招き猫」が好評を得ている。</p> <p>多治見市でも陶器やタイルの生産は各地区で行われており、特に高田・小名田地区の徳利の製造現場など街並みを取り入れた産業観光のまちづくり、賑わい創出の参考になった。</p>
6 写 真 等 ※視察の場合は必須、研 修の場合は任意	 

※視察先、研修先ごとに1枚作成すること。

視察報告書

会派名 立憲フォーラムたじみ

代表者名 石田浩司

1 日 に ち	令和元年 10月 29 日 (火)
2 視 察 先 研修名、主催者及び会場	神奈川県小田原市 歴史的建造物エリアコーディネート調査について
3 参 加 者	経済建設常任委員会メンバー
4 調 査 内 容 研 修 内 容	歴史的建造物エリアコーディネートの経過・効果について
5 所感、主な内容、提 言事項、課題等	<p>小田原市の歴史的建造物利活用エリアコーディネートプランは、小田原城周辺に残る城下町・宿場町の歴史的建造物を中心に誘客、交流・にぎわいを創出し、合わせてコンパクトシティの実現を目指すものであり壮大な計画である。エリアは3つに分かれており「かまぼこ通り周辺地区」で水産加工品（かまぼこや干し物）などの製造・販売の現場を視察した。生憎の雨であったが各経営者の地域おこしにかける情熱が感じられた。また、三つの地域の移動手段として「うめまる号」を土日祝に運行されていた。</p> <p>小田原市は都市部と経済部とが調整を取りながら経済効果と都市計画の視点でエリアコーディネートプランの調整が行われている。</p> <p>多治見市では永保寺や修道院などの歴史建造物とオリベストリート、タイルミュージアムなどの観光施設をいかに結び付けるかが課題である。うながっぱバスも日祝日に走っているがルート編成と周知が必要である。また、インスタ映えする施設の売り出し方法にも一考の必要を感じる。</p>
6 写 真 等 ※視察の場合は必須、研 修の場合は任意	 

※視察先、研修先ごとに1枚作成すること。